
請 願 書

日本政府

宛

3月14日、中国チベット自治区ラサを始めとする、青海省、四川省を含むチベット人自治区で、僧侶を始め多くのチベット市民による抗議運動が起き、中国警察と衝突し、状況が激化しています。ラサでは、催涙ガスが使われ、僧侶2名が死亡。その他2名のチベット人市民が死亡。また20名のチベット人が車両で連行され射殺されました。米政府系放送「ラジオフリーアジア」では死者は80名以上の可能性があるかと伝えています。現在ラサは戒厳令下にあり、マ数々の僧院は武装警備隊の監視下にあります。

武器を持たないチベット市民に対する、この異常な武力弾圧を黙って見過ごすわけにはいきません。

日本政府はアジアの平和を率いるリーダーとしての役割を果たしてください。私は、日本政府がチベット人に対する武力弾圧を即刻止めるように、中国政府に訴えることを強く要請します。また、オリンピックに向け人権を守ると誓言した中国政府へ、チベット人に本当の「人権」と「表現の自由」を与えるよう、日本政府から申し出ることを一国民として強く要請します。

名 前

住 所

年 齢
